

新収蔵展示「時の啓示」 池田良二版画展

1947(昭和22)年、根室に生まれた池田良二は、東京を拠点に国際的に活躍する版画家です。写真をもとにしたフォトエッチングを中心に複数の銅版画の技法を駆使し、積み重ねられた時間の深い奥行きを表現してきました。

本展では、当館が2019(令和元)年度、作家からのご寄贈により新たに収蔵した版画10点を中心に展覧します。自身の生まれ育った土地に表現の動機を見いだした1980年代後半から近年に至る作品により、生と死、存在と不在を暗示する象徴性に満ちた作品世界をご覧ください。

出品リスト

no.	作品名	制作年	技法、材質	寸法(縦×横)
1	Revelation of time (時の啓示)	2002(平成14)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	52.0×33.0cm
2	Circumstances (境涯)	1988(昭和63)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	69.9×58.0cm
3	Dislocation in manuscript (手稿された断層)	1992(平成4)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	57.0×57.0cm
4	Cape watershed (岬の分水嶺)	1988(昭和63)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	57.7×84.6cm
5	Crystallized exterior (表層の結晶)	2002(平成14)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	74.0×100.0cm
6	Boundary of silence (沈黙の境位)	2002(平成14)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	85.0×61.8cm
7	Landscape with Tracks (軌跡のある風景)	2007(平成19)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	70.0×55.5cm
8	Gift from the floods (洪水からの贈りもの)	2013(平成25)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	66.5×48.0cm
9	Reflection of foggy Ocean (海霧の考察)	2013(平成25)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	70.×58.0cm
10	In the miniature of Ochiishi (落石の縮図の中で)	2013(平成25)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	60.0×50.0cm
11	Postscript of absence (不在の再考)	1996(平成8)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙(ベランアルシュ紙に雁皮刷り)	57.0×85.0cm

*nos.1～10は、2019(令和元)年度新収蔵作品。

*no.11はロビー(展示室出口壁面)に展示。

*作品はすべて北海道立釧路芸術館蔵。



新収蔵展示「時の啓示」 池田良二版画展

会期：2020(令和2)年 5月14日(木)～6月21日(日)

会場：北海道立釧路芸術館フリーアートルーム

主催：北海道立釧路芸術館